

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	音楽
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	創造工学科（機械コース）		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	音I 304 高校生の音楽 1 教育芸術社、及び		NEW MUSIC NOTE 教育芸術社			
担当教員	門脇 博子,上松 和弘					
到達目標						
音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。また、音楽文化についての理解を深め、幅広い国際的な感性を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	・音楽に対し、関心が高く意欲的に取り組むことができる。 ・意見交換の場面において的確に発言し回りの意見を高めていける。 ・パート練習などで、リーダー的役割を担える。		・音楽に対し、関心が高く意欲的に取り組むことができる。 ・指示されたことを正しく行える。		・遅刻、忘れ物、ノート提出ができないなど意欲がない。	
評価項目2	・表現活動をするための必要な技能を身につけ、音楽を形づくっている要素を知覚し、曲の表情を感じながら、曲にふさわしい表現が出来る。		音楽を形づくっている要素を知覚し、曲の表情を感じながら、曲にふさわしい表現が出来る。		・表現活動ができない。	
評価項目3	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ、曲の文化的、歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞することができる。 ・鑑賞によって自分なりの解釈を加える等、自分自身の思考を広げることができる。		・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ、曲の文化的、歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞することができる。 ・音楽の美しさや良さを味わえる。		・観賞後の感想などが一言しか書けない。	
学科の到達目標項目との関係						
(B) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につける。						
教育方法等						
概要	教養として身につけてほしい楽典や音楽史など、音楽の基礎を学ぶ。表現活動においては、特にアンサンブル活動を多く取り入れ、クラスメイトとより良く関わり合いながら曲を仕上げていく（高めていく）喜びや楽しさを味わう。また日本語、イタリア語、英語、ドイツ語と様々な歌（曲）に取り組みそれぞれの違いや美しさを感じ取る。音楽文化の歴史や背景について理解を深め、国際的な感覚を身につけていく。					
授業の進め方・方法	・校歌は授業の始めに毎回歌う。 ・その回の授業の説明。 ・歌唱・リズム・鍵盤楽器による表現活動。 ・DVDやCDによる鑑賞。 ・基礎的な楽典。					
注意点	・授業中使用したプリントはノートに貼る。1月にノート点検をし、それも評価として入れる。 ・表現活動後の感想や鑑賞の感想をしっかりと書くこと。 ・通年の開講であるが、隔週実施なので、授業計画は前期のみの形式で記してある。通年で読み替えて理解する事。 ・下記評価割合の詳細は、前期末テスト30%、後期末テスト30%、表現活動20%、取り組み（態度、ノート）20%である。 ・再試験は実施しない。 ・前期末試験において50点未満の者に対しては、レポート提出を求める。					
事前・事後学習、オフィスアワー						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・初発指導とシラバスについての説明 ・校歌歌唱		・校歌の旋律をしっかりと覚え歌うことができる。	
		2週	・カンツォーネ「O sole mio」		・カンツォーネについて理解できる。 ・「O sole mio」の歌詞の内容を理解し、イタリア語で歌唱することができる。	
		3週	・楽典① 楽譜 リズム譜など		・基本的な楽典について理解できる。	
		4週	・合唱曲		・新しい仲間と楽しく合唱することができる。	
		5週	・合唱曲 合唱の仕上げ ・合唱テスト		・曲にふさわしい表現ができる。	
		6週	・鑑賞① バレエ音楽「ボレロ」		・作曲家ラヴァルの生涯と楽曲の構成について理解できる。	
		7週	・リズムアンサンブル「クラッピング・クワルテット1番」		・自分のパートを正しく覚えアンサンブルができる。	
		8週	・民族音楽 サンバ打楽器を使って合奏		・サンバのリズムを習得し打楽器を用いクラス全員でサンバの雰囲気を楽しむことができる。	
	2ndQ	9週	・ヴォイスアンサンブル「Swing Low Sweet Chariot」 練習		・英語のア・カペラ曲を歌唱することができる。	

後期		10週	・ヴォイスアンサンブル 「Swing Low Sweet Chariot」 発表	・自分のパートを覚え、ハーモニーを感じながら演奏することができる。 ・他グループの演奏を自分たちのものと比べながら聴くことができる。
		11週	・鑑賞② オペラ「トウーランドット」	・オペラ（総合芸術）について理解できる。 ・作曲者プッチーニの生涯と曲の歴史的背景、曲のあらすじについて理解できる。
		12週	・楽典② 音程・和音・コードネーム	・音程、和音、コードネームについて理解できる。
		13週	・鍵盤アンサンブル 「Jupiter」 練習	・鍵盤楽器の弾き方を知り自分パートを練習することができる。
		14週	・鍵盤アンサンブル 「Jupiter」 テスト	・自分のパートを弾くことができ、相手と合わせることができる。
		15週	・ドイツリート「Heidenröslein」とシューベルトの生涯	・作曲者ゲーテと詩の内容について理解できる。 ・シューベルトの生涯と「Heidenröslein」の曲の構成について理解できる。 ・ドイツ語で歌唱することができる。
		16週		
	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	2	
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	2	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	2	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	2	

評価割合

	前期末テスト	学年末テスト	実技	鑑賞	取り組み（ノート、態度）	その他	合計
総合評価割合	30	30	20	10	10	0	100
基礎的能力	30	30	20	10	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0